A 市長　ひとまずほっとしました。職員の前向きな姿勢が出てきたと思っています。

Q **看護師の確保は非常に厳しいようですが、どの様に募集していますか。**

A 市長　インターネットや新聞広告、チラシで募集をしています。しかし成果は必ずしも上がっていません。

Q **10対１は維持できるでしょうか。**

A 市長　現在の患者数の状況では、10対１は維持できています。患者数を増やしていくとなると看護師が今以上に必要になります。

Q **看護学部設置を、中期目標で城西国際大学に対し要望していますが、山武郡市全体の要望でしょうか。**

A 市長　山武市としての要望です。

Q **山武郡市全体で、この問題に取り組むような協議はされないのでしょうか。**

A 市長　これは特に成東病院を独法化する中で急激に進んできたという経緯です。

Q **山武郡市で一つ大きなテーマとして取り上げて、看護学部の設置は山武郡市全体で取り組むべきと思いますが。**

A 市長　山武市では積極的にお願いしたいと思います。

Q **看護学部開校の目標年度はいつですか。**

A 保健福祉部長　平成24年４月開校の計画です。

Q **全体で40名となっていますが、単年度で何名を予定していますか。**

A 市長　中期目標の中で、さんむ医療センターとしては、20名～25名の毎年の枠を考えていると思います。

Q **奨学金は１人どのくらいを予定していますか。**

A 市長　市として積極的に看護師を募集していくということからすると年間１００万円、多くても月10万円あたりかと思います。市として独自の奨学制度を上乗せできれば、さらに看護師を目指す子供が増えるだろうと思っています。

平成会　関連質問

越川　　哲　議員

・地域医療推進課について

Q **進課が新設され、「さんむ医療センター」との連携が期待されています。**
地域医療推進課の現在の状況はどうか。

A 保健福祉部長　地域医療推進課は、まだ始まったばかりで、成東病院の清算業務が主体となっていますが、評価委員会に関する事務もおこなっています。
さんむ医療センターとの連携につきましては、定期的に調整会議をおこなっていますが、今後、試験的にさんむ医療センター内に地域医療推進課の窓口を設置し、実際に病院での市民の要望について、把握していく予定になっています。

・「さんむ医療センター」の運営について

Q **「さんむ医療センター」より、平成22年４月の月次損益が出されました。**
これによりますと、経常利益として３千７３万６千２９８円が計上されています。
この数字に関して市長の見解はどうか。

A 市長　とりあえずスタートして順調に立ち上がったということでは、ほっとしています。
しかしながら、まだ１ヵ月の経常利益では軽々に判断することはできないと思います。本当に順調にスタートできたかどうかということについては、もう少し、半年くらいたってみないとわからないと思います。
私としては、何とか立ち上がったという判断にとどめておきたいと思います。

Q **次損益の中には、山武市より運営費交付金として交付された５億円が計上されていませんが、どのようになっているのか。**

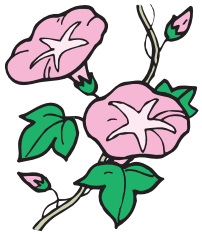
A 保健福祉部長　運営費交付金の収益化につきましては、基準を設ける必要があるということです。
その基準につきましては、成果進行基準または期間進行基準の２通りがあり、この基準をさんむ医療センターとして作成中ということで、今後計上されるということになっています。

Q **「さんむ医療センター」の医療機器の整備について伺います。**
「さんむ医療センター」の中期計画では、医療機器等の計画的な整備及び更新ということで、医療機器整備計画を策定することになっていますが、この医療機器整備計画は策定されたのか。

A 保健福祉部長　さんむ医療センターのほうで順次、医療機器整備計画を策定している状態です。

Q **医療機器整備計画は策定中とのことですが、本来ならば医療機器整備計画が策定され、それに基づいて順次計画的に医療機器を購入していくのが順序だと思いますが、どのように考えているのか。**

A 保健福祉部長　さんむ医療センターがスタートするまでに準備時間がなかったということで、今回購入するＣＴにつきましては、最優先という形で、施設整備委員会が立ち上がって決定されたものです。
今後、医療機器整備計画につきましては詳細に計画されるものと考えております。

Q **医療機器の購入にあたっては、山武市が起債を起こし、特別会計にて「さんむ医療センター」に貸し付ける形になると思います。今後、医療機器整備計画が出されたなら、すべて承認されるのか。**

A 保健福祉部長　医療機器の購入については、収支計画の中で予算規模を決め、順次、整備していくことになると思います。
ただ、計画の範囲にあるから認めるという判断はしておりません。
今回のＣＴ以外も予定されていますが、必要性を認識した上、さらに収支計画上、成り立つのか、成り立たないのか、その辺も病院のほうから詳しく計画書を出していただいて、これに承認を与える形になっています。